



## 園部共同作業所だより

園部共同作業所発行

622 0011

船井郡園部町上木崎町入道32



0771(62)3249

No 43

極生い國く職地さかたま道なみ あいをで屋全八けに よくかで園相 うおた退たに と 退  
的活るか我れでをれで、せやどれ圓るで障すあ國苦てブ残こうこな働部談私ご世「職い新こな桜職  
に支精らがしき最る私皆る川小や部と取害。るでを、「ホリのにとくいに員はざ話皆すとしのりのに  
進援神三国くた後地の様土岸さレは思り者当グもし皆しま三思ば、た來で、いに様る思い度ま花に  
めを障〇で思こいで古方地になん縁い組にたル珍た様ムす年いか教こるあ精まな方こい世、しがあ  
てこ害年はつと京し里もで咲花ゲ豊まんもり、しことの間まりえとまりえとまり神た。あはに京に〇  
いれ者も、てを都たがとしき々、か。だ、前ホーと共開はです。ではでな保。あはに京に〇  
くかの遅先いと府。思てた、が彼で成との一に設、一あい一保が健り本し都挑歳の  
必ら地れ進すまでをこいも。心あ岸、果の生ム四にグ番つた年健ら福が當ま府戦を季  
要積域で諸。も退の出暖ま和ぜ花すで思活ニ部。苦向ル心ただし所、社とにしをし前



い今なたとのものが  
後もよろと方おに業施す。  
思にりしの策。  
くいおまて推のそ  
おま世すい進提の  
願す話。こを言た  
い。にまう私やめ

三品桂子



中川京子

しとしにいでをまたでそにすけあみた氣ながう私作申りはこを儀申御り たお  
ま御て会ね何しすこ指んわらでなんががんそ：に業しま御とも 一し健皆漸  
す多居え。事なと導なたぐ、たなそあとこ：暖所上し支とち身上康々く  
幸りる前もいこにさ思し、みがのこかなに：かのげた援なま上げの様春  
をま日進挑でれ感せいもそんそがいくそる。心様すと御、て都すとはの  
おすをあ戦マか謝てでなんなこほるなのだあを慣。厚指在退合。とま候  
祈。樂るしららしいりなのにこだる場けた有れそく導職職でさおすと  
い健みな下、無居だばいながるぶで、あのでなりなし御を中す三て喜ま相  
た康にたさス理りけい、たやだ、な空、た難いて礼賜による月私びす成

いじ こ書き細をめ さ頑のつい族のを畠泣もり日 活もれ者の推えあ色泊つな  
世とて今とばたか大は私ん張個ば、にで済君い何合も振し苦又もご進るわ々旅ぼり桜  
話考大年でかがい切、の? つ人い感出、まがて度つありて情、つ協委次たな行みーの  
人え切はすり、事に入こ て個で謝来こせ、いかてり返く音私つ力負第だ行、一グ花  
てに自 でゆにし居の こ人すの上れて食べるあ涙、れれわのがをそでし事研もルも  
野おし主 悔きもた者一 ね一、気ががく事うりを手ばてず作無頂のすいも修お、咲  
々りて性 い渡注いの年 一層つ持つ本れのちま流に、ま楽るくき他家一数会花普く  
口まいを のら意と自の H、努ぼちた當て後にしし手楽、し食す、の族年々そ見ホ季  
光すき重 残なし思立ま 力みでとのい始、たたをし、く事ご入方会をき、他ームと  
子。たん るいで、性と Mし、い思家た末田。事取り、生にさ居々、迎、他ームと

この一年をふりか



た。 三 三 二 一 十 ト レクレーシヨン  
。十に知ボ月れり温そ一月保月会月1月会二評田マ二十二月供「ま達戦  
七て山一ニい旅泉う泊十健七、二テ六月で烟ス月じた。」  
位サリ十で、め研六所日保十一イ日れ二じさん。日を歌いらな  
中シ三し瀬鳴ん修日に健一日の保司健  
ケグ日、戸門の旅う十七日ゼン房に、忘年クリアコン  
イ大、大公里行、卓球大で好てス  
十二位ボ会京橋園とがぐ琴平  
でしウル福連きる平

十二月七日 クリル ガンリニアコン

らず力出すも目すもしせフくなどいのどなりにを人なのんすのンがとハ「えド有フせド  
が嫌ン来れちが」「こる」るりさド傾人うる一貼付はぜ作。かでド大ボケ接は「名」んの誰  
誘いコるばろいとしのの「自まをの向がしの対るけ一な業他とすの好ンを着、とな。」。フー  
つと仕何んく拒まガでと信し克フに追てで三人た名らをの「か仕きド使剤」そも○も称「自」  
とい言事の彼つ否せんし呼がた服「なわもすのがパ、ボ敬人や、事でをつ。」の違○ち  
もううな困のかすんバよん、「はりれボ。作三ツソン遠はる数はす付て彼もい七ろ」「とし  
なかかの難力あるリうでボそ熟そまでンそ業名トのドし逆氣はい。けパはのまのんボはて  
か、「でも量り作い屋。トンこ練のすしドれ体、をボ付まにま千つ今るツ小ずす」、「ン呼  
なこ食すなます業やのし言ドか工し。ん付で制つ紙ンけす、ん個く度作パさば。ボあドびボ  
かちわが、くら種で彼かわのらにんボどけはにま箱ドの。こまでのボ業ツなり答ンののま

「一ノ瀬のハンドル車」と



手をつけてくれません。早く「ボンドのフー」を卒業してどの作業種目もこなせる才人マスターイティのフーに変身してほしいと思う今日このごろです。

べながにしそおよしがん入に四変たはだめしべでいらおめでた作作のふ日お日鳴う旅日  
てつ、おもしたし見かたえでつ着時大。すきんかましも、さんしりり里りへ天へ門め行十三  
残たおうどて、てやつ。おかげき三き明ごまをつしたのおしのた本方方でま土氣金公んに七月  
しの腹どし、全、げたとふらかま十か石くしおたた。野漬みた。当ががはしで園の行日十六  
までがんまい食夕をでてろ、らし分つ海大たみで。私菜物そい昼のし人、た曜し曜ぐり里  
し少いがしつべをいをたけいし最のた。はかお。琴で大な瀬げ。て、煮してもは間あでうそはがは  
たしつ出たも。だばま。なました。そきもまことにをや温たもで大いそお部もお天やそたまんめ雨十良十  
食たにた後少。

いらまカ少はえ三大才鳴か昼分栗テが朝ふお七は  
まよしラし、つ十橋ワ門つ食に林ル、食くふ日を  
しかたオはがて分シ橋た、鳴公をふをにろ、み  
た。ケツやきに南ス、でを門園九つた着に土一  
たおはかんま園丹、すた公、時てべが入  
の天二れしまし部篠一ハ、ベ園十にままでり曜  
に氣曲ままた大山明イそて、二出發してそ日朝  
とだうしました橋、石ウしお見時し、らてか  
つたた、帰に五海エてい学三、らてか  
思いた、りか時峡イ太しと士、赤雨、ら士  
しれ空し行か松のが  
ててひゆきん本歌終  
、よばをまかさ手わ  
へかりさしとんがつ  
やつのれた言がこて  
にた歌ま。わ、らか  
かでをし皆れ聞れら  
えすうたにたきた  
つ。た。あのにの男  
てそわ善くて行で性



## 編集後記

寄贈品 上段佳子様 お菓子  
小西実様 みかん  
城島幹夫様 ラーメン  
矢野勇様 お菓子  
大内深雪様 お菓子  
河加藤様 お菓子  
米匿様 お菓子  
中川名合様 お菓子  
京餅様 お菓子  
中川京子様 お菓子  
大傘ん京子様 お菓子  
切をな子様 お菓子  
ます。にいに様 お菓子  
に使わだにネーム お菓子  
せきま通 お

